

| | | | |
|---------|--------------|-----|----------|
| 科目名 | 使用教科書・副教材等 | 単位数 | 学科・学年 |
| 数学「数学B」 | 新編 数学B(数研出版) | 2 | 工業科・第2学年 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------|--|
| 学習の到達目標 | 1 数列、統計的な推測について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 2 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばし、それらを活用する。 |
|---------|--|

2 学習計画等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 考查 |
|-----|--|----|--|----|
| 1学期 | 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 | 4 | ・等差数列と階差数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 | 中間 |
| | | 5 | ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解することができる。 | |
| | | 6 | ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 | 期末 |
| | | 7 | | |
| 2学期 | 第3節 漸化式と数学的帰納法 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 | 8 | ・数学的帰納法について理解することができる。 | 中間 |
| | | 9 | ・標本調査の考え方について理解を深めることができる。 ・確率変数と確率分布について理解することができる。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 | |
| | | 10 | | |
| | | 11 | | |
| | | 12 | | 期末 |
| 3学期 | 第2節 統計的な推測 | 1 | ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 | |
| | | 2 | | |
| | | 3 | | |

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

| | 知識・技術 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|---|--|
| 評価基準 | 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

(2) 評価方法

| | 知識・技術 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| 方法 | 定期考査と小テストで評価する。 | 定期考査と小テストで評価する。 | 小テスト、家庭学習課題、授業に取り組む態度で評価する。 |

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業では教科書を中心に、教科書傍用の問題集「Study-Up ノート 数学B」も用いて学習します。 ・長期休業中の課題などに丁寧に取り組み、学習内容の定着に努めよう。 ・間違えた問題が解けるように繰り返し練習し、基礎学力を確実に身に付けよう。 |
|--|